

なぜ女性同士の対立は生じるのか？

—マウンティングの発生と対処法に着目して—

氏名 森 裕子

女性同士の対立は、映画や小説の題材として取り上げられることも多く、人々の関心を集める話題であるが、その一方で、女性同士の対立について心理学的な検討はあまりなされてこなかった。そこで本研究では、女性同士の対立につながりやすい行動としてマウンティングに着目し、マウンティングの実態を把握し、それらへの対処法を考案することで、精神的健康の向上を目指す。マウンティングとは、従来動物の順序確認行動を指していたが、近年では人間の行動に対しても用いられるようになり、自分の方が優位であると相手に誇る言動を指す(見坊他, 2021)。マウンティングについて検討した論文(森・石丸, 2021)がソーシャルネットワークワーキングサービス上で大きな話題となり、新聞や雑誌でも取り上げられるなど、近年注目されている現象である。以上から、「1)女性同士のマウンティングはどのような実態なのか」、「2)女性同士のマウンティングによる傷つきには、どのように対処したら良いのか」の2つをリサーチクエスションとしてあげる。これらのリサーチクエスションに対応して、第1に、女性同士の場における女性の行動や好悪の特徴について明らかにし、マウンティングについて検討する素地を提供すること、第2に、女性同士のマウンティングの実態について把握し、それらへの対処法を考案することを目的とした。

第1の目的としてマウンティングについて検討する素地を提供するために、第2部(第5章-第7章)では、女性だけの場面での女性の行動と好悪の特徴について検討を行った。まず第5章では、女性だけの社交場面での青年期女性の行動の特徴について、場面想定法を用いた質問紙調査を行った。その結果、女性だけの社交場面では男性もいる社交場面とは異なる特徴があり、女性同士のコミュニケーションは、男女間のコミュニケーションと分けて論じる必要があると考えられた。そこで第2部第6章では、女性同士のコミュニケーションに着目し、女性から他の女性に対する偏見と平等主義志向性の関連について、検討を行った。その結果、女性同士が偏見を向け合うことが一部確認され、女性同士の対立につながり得る可能性が示唆された。そこで第7章では、他の女性に対する好悪の評価をたずねる質問紙調査を行い、女性同士でみられる好悪の評価と、それに影響を与える要因について明らかにした。しかし、日常的な女性同士の対立において好悪の評価が明確に示されることは少なく、より婉曲的な言動による対立について検討を行う必要があると考えられた。

以上の知見を踏まえて第3部(第8章-第11章)では、女性同士の婉曲的な言動による対立であるマウンティングに着目し、その実態を明らかにすることと、それらへの対処法を考案することを目指した。まず第8章において、よりマウンティング概念の精緻化を行うために、書籍やドラマからマウンティングのエピソードの収集し、質的分析を行い、女性同士のマウンティングの構造を明らかにした。また、収集されたマウンティングのエピソードは婉曲的であるため、マウンティングであると感じた女性の受け取り方によって、マウンティングの成立が左右される可能性が考えられた。

そこで第 9 章では、マウンティングの受け取り方に関連すると考えられた、女性の性的欲求について測定する尺度を作成し、その信頼性と妥当性の検討を行った。さらに、第 10 章では、第 8 章で収集したエピソードに基づいて、相手の言動をマウンティングであると感じる程度であるマウンティングに対する敏感さを測る尺度を作成し、マウンティングに対する敏感さに影響を与える要因について検討を行った。その結果、精神的に不健康であり、自分の考えや気持ちの把握が苦手な女性は多くの言動をマウンティングであると感じやすい可能性があるため、認知行動療法を援用した介入が有効になる可能性が考えられた。

そこで第 11 章では、マウンティングによる傷つきの軽減を目指し、認知行動療法の思考記録とセルフヘルプ・グループの知見を援用した、介入研究を行った。その結果、介入によってマウンティングに対する敏感さは変化しないものの、マウンティングをしてくる女性との関わりにおけるわずらわしさは減少する可能性が示唆された。

以上から、1つ目のリサーチクエスションに対しては、女性同士のマウンティングは膠着した三すくみ構造を成し、その中で繰り返されている可能性があるかと答えることができ、2つ目のリサーチクエスションに対しては、マウンティングを受けたと感じた経験を記録することや、他の女性とマウンティングについて話し合うことが有効になる可能性があるかと答えることができた。今後の課題としては、マウンティングの定義に曖昧さが残るため精緻化していく必要があること、マウンティングを受ける女性のみならずマウンティングをする女性にも注目する必要があること、女性同士の対立の背後にある社会構造も含めて包括的に検討する必要があること、男性同士のマウンティングとの比較がなされていないことがあげられる。